



ながさきピース文化祭2025

令和7年1月6日
ピース文化祭
諫早市HP



ながさきピース文化祭 2025

👉 諫早市がやりたいこと！ 👉

諫早市は、

誰もが同じように参加出来て、人と人とのつながりや、新たな交流から、
年齢・性別・障害にとらわれることなく新しい未来の創造につなげていく
「ながさきピース文化祭 2025」を目指します。



開催にあたっての
基本的な考え方



まずはなにから
はじめたらいいかにゃ〜？
今回はその方法について
考えてみたにゃ

👉 『ちょこっと隊』を組織してみては？

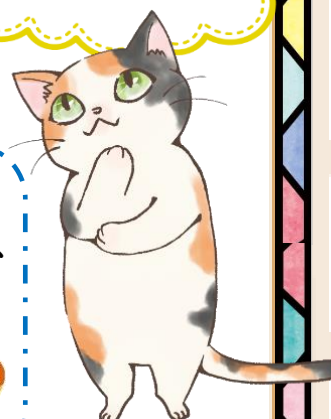
『ちょこっと隊』実現する具体的な方法について専門家を交え、
検討会議を行いました。

イメージ

- ◆ 思いやりチェックシートの活用で、来場者みんなが助け合える雰囲気づくりを行う
- ◆ 来場者の「困りごと」に対応する『ちょこっと隊』を組織し、各会場に数名配置

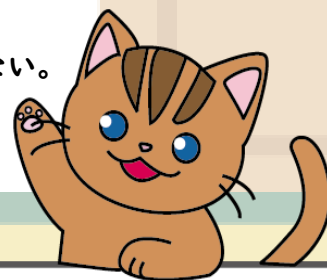
鑑賞サポートボランティア

⇒ 芸術鑑賞をためらっている
障害のある方やお子様連れの方、
高齢者の方なども気兼ねなく
鑑賞できるように
する取り組み。



👉 立上げに向けた具体的なアイディア

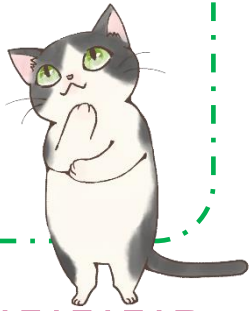
- ★ 公民館講座として「観賞サポートボランティア講座」みたいなものをやってみたらどうか。ボランティア協議会が講師をすることもできる。ピース文化祭を《成果を試す場》と位置付ければこれまでにない、実践的な講座になりそう。
- ★ 講座終了後に、自主学習グループみたいな形で継続して、ボランティア団体が増えるとボランティア協議会としても嬉しい。発展形として、地域への出前講座（小学校・中学校など）などもよいかも。
- ★ 大学生は意外と週末は忙しい。高校生ボランティアもよい。小学生・中学生でもいいと思う。行政から、教育委員会や校長会を通じて依頼するとスムーズなのではないか。（小学生・中学生が協力してくれるなら、送迎などについても考えないといけない。親子や友達家族とかと一緒に参加してくれたらいいな〜♪）
- ★ 地域の子ども会などにスポット的に依頼すると、引率して行き帰りができるのでそれもいいのかも。
- ★ 福祉体験学習として、社協主催でのボランティア講座などをしてもいいのかもしれない。
- ★ ボランティア協議会を通じて、いろんな活動をしている団体に繋いでもらうのもいいのかも〜。
- ★ 設営だけであれば、地域の企業や青年会議所などに協力を求めるのもいいかもしれない。



動員という形ではなく
「ボランティアをやりたい♪」
という気持ちを大切にして募集
することが大事♥

🐦 その他 アイディアの種

- 今年は介護の日とパラフェスが同日開催でああったが、会場の上山荘とアーケード間の移動手段があまりなく、通常のバス運航だと連携がうまくいかないと感じた。市の事業どうしの連携も必要ではないか。（イベント時の特別運航時間にしたりできないかな）
- 来年11/8～9は、県民体育大会のメイン会場が諫早で開催されると聞いている。忙しくなりそう。（何か関連づけられないかな。。）
- 浮立フェスティバル。伝統芸能は国際交流と相性がよい。外国人ボランティアを募ってお手伝いしてもらったり、浮立体験をしてもらったりできたらいいのではないかな。
- 事業によっては、設営など大量のボランティアを必要とする場面もあるかもしれないね。
- 設営に関しては、障害福祉事業所で引き受けてくれるところもあるよ。



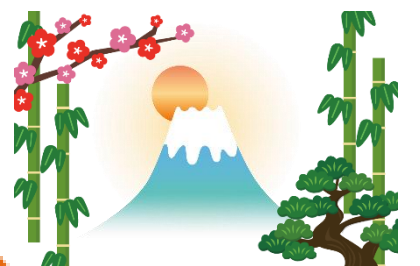
🐦 まずやってみること☆シ

- * 16事業の開催場所に、実際にどれくらいの人が必要となるか概算でいいのでまとめていく作業をやってみる。
- * 「諫早市ボランティア協議会理事会」には色んな団体が出席されるので、ピース文化祭の取り組みを説明にしてみる。

◎ 理事会 2/4（火）13：30～ ◎ 代表者会議 3/11（火）13：30～

🐦 今回のアドバイザー 🐦

諫早ボランティア協議会理事 平山 百合子氏
長崎レクリエーション協会専務理事 平山 仁氏



迎春
楽しい一年に
なりますように



🐾 クイズ 🐾

今回のお便りの
なかに猫は何匹
いるでしょ～うか？

